

# 第15回 新潟CTテクノロジー研究会

2018 夏の陣

テーマ：『CT検査を読み解く』

— 「志」は検査前から検査後まで —

日時：平成30年 7月 21日 (土) 12:30～

場所：新潟医療人育成センター 4Fホール

機器展示 2F 小会議室 12:30～16:50 (特別講演前まで)

新潟県新潟市中央区旭町通一番町757番地 (新潟大学旭町キャンパス内)

参加費：1,000円 (学生は無料)

## 当番世話人挨拶

本年度の新潟CTテクノロジー研究会のテーマは「CT検査を読み解く」といたしました。CT検査はオーダーを確認してから画像を出力する、そしてその後の画像確認までが私たちの仕事であり、非常に多くの業務内容があります。オーダーに対し何も考えず検査をしてしたり、検査後に画像をそのまま送信したりすると、大事な多くの画像情報を提供できないばかりか、検査目的すら達成できないことが生じ、患者さんが不利益を被ります。シンポジウムでは「失敗から学ぶ」と題し、皆様と失敗を共有し考える機会としました。CT検査前から検査後まで、私たちができることを今一度考え、皆様と共有したいと考えております。そして技術講演、特別講演では私たちがCT検査に携わる際に何をすべきかをお二人の先生をお招きし御講演いただきます。また、各メーカー様のご協力により機器展示がございました。本年度も多くの皆様のご参加をお待ちしております。

当番世話人 魚沼基幹病院 松本 一則

## < プログラム >

総合司会 中条中央病院 関川 高志

《機器展示》 12:30～16:50 (特別講演前まで)

CT関連メーカー機器展示

2F 小会議室にて、10社予定

《情報提供》 13:15～13:30

造影剤安全使用の話題

第一三共株式会社

《プロローグ》 13:30～13:45

『その検査に想いを — 「志」は検査前から検査後まで — 』

当番世話人 魚沼基幹病院

松本 一則

・・・・・・・・・・ 休憩 (5分) ・・・・・・・・・・

— 失敗から学ぶ —

座長 魚沼基幹病院 松本 一則  
新潟手の外科研究所病院 風間 清子

シンポジスト：

- 『失敗から学ぶ -共有知識化の重要性-』 新潟脳外科病院 田村 啓和 先生
- 『失敗を繰り返さないための改善点の検討』 長岡中央総合病院 山田 大夢 先生
- 『当院の特徴に起因する失敗から見えてくること』 新潟県立がんセンター新潟病院 佐々木 雄樹 先生
- 『私の失敗 -整形領域を通して-』 新潟労災病院 青野 瞳 先生
- 『何を考え、どう撮影するか。-想定外を想定内に-ASO編』 国立病院機構新潟病院 本田 啓明 先生

..... 機器展示供覧・休憩 (30分) .....

《技術講演》 16:10～17:00

座長 新潟市民病院 神田 英司

『検査で救う

～ チームの中で診療放射線技師がやるべきこと ～』

戸畑共立病院 画像診断センター 主任 田中 順平 先生

..... 機器展示供覧・休憩 (20分) .....

《特別講演》 17:20～18:20

座長 新潟大学医歯学総合病院 能登 義幸

『読影補助のいま、そして未来

～ 必要なものは情熱か？AIか？～』

昭和大学 統括放射線技術部 統括部長 加藤 京一 先生

《次回当番挨拶》 18:20～18:25

《閉会の挨拶》 18:25～18:30 新潟CTテクノロジー研究会代表世話人 野水 敏行

\* 本会終了後、情報交換会「夜の陣」を会費制(事前申し込み)にて行います。(別案内参照ください)

\* 当研究会は、日本X線CT専門技師認定機構よりII-3:3ポイント、  
日本救急撮影技師認定機構より2ポイント、肺がんCT検診認定機構より5ポイントが付与されます。

\* 当日は、ご参加いただいた確認のため、ご施設名・ご芳名のご記帳をお願い申し上げます。  
ご記帳いただいたご施設名・ご芳名は、医薬品の適正使用情報および医学・薬学に関する情報提供のために利用させていただきます。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

< 共催 : 新潟CTテクノロジー研究会 ・ 第一三共株式会社 >